（ICT活用日本語教室 日本語学習者向け「オンライン教材を活用した日本語教室」）

「よこはまでつながる　くらしの日本語」7月コース 実施報告

主催：(公財)横浜市国際交流協会

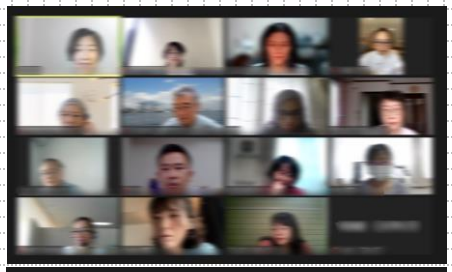
オンラインによる日本語学習のニースが増えているなか、オンラインの日本学習教材を使い、生活に役立つことを目的とし、昨年度に引き続き、ICTを活用した日本語教室「よこはまでつながる　くらしの日本語」7月コースを実施しました。

オンライン日本語学習サイト「つながるひろがる　にほんごでのくらし」（通称：「つなひろ」）作成に関わった方を講師にお招きしました。

7月コースの学習テーマは「お出かけ」でした。「つなひろ」のシーン「イベントに行ってみよう」「電車に乗ってみよう」「自治会に入ってみよう」「道を聞いてみよう」の中から出かける際に適した語彙や表現、フレーズなどをもって、会話を展開し、学習者はたくさん話しました。

各回は完結した内容で、参加した学習者が単発参加でも学びがあり、4回連続での参加の場合にはより学びが深まる構成でした。皆さんは「お出かけ」と関連がある言葉や表現、聞き方などを集中的に触れることにより、自信につながったようで、積極的に発言したのが印象的でした。

学習者の「学んだ日本語を使えるようになりたい・たくさん話したい」という思いをサポートするため、参加したサポーターは、日ごろの支援活動の経験を活かしつつ、講師の指導の下、オンライン教材を使っての活動を体験しました。活動の中で疑問に思ったことや困った点などを講師に聞きました。アンケートからは、「先生のウォーミングアップのやり方が勉強になった」などのコメントが寄せられ、新たなアイディアや多方面からの気づき、学びを得た様子が見られました。



講師による全体活動の様子

学習者の声（抜粋）

- ●教室は楽しかった。とてもよかった。
- ●日本語が以前より(少し)上手になった。
- ●生活に不安に思うことが少なくなった。

サポーターの声（抜粋）

- ●実際にオンラインで日本語学習支援活動をしたことがなかったので、具体的な進め方が分かってとても参考になった。

タイトル	「よこはまでつながる　くらしの日本語」7月コース
学習テーマ	「お出かけ」
講師	中川美保さん：聖心女子大学　嘱託講師（第1・2・3回担当） 有田玲子さん：東京にほんごネット　代表（第4回担当）
日時	2023年7月6日・13日・20日・27日　全4回 木曜日　10:30-11:30
場所	オンライン（Zoom）
参加者数	学習者：13人（のべ34人） サポーター：10人（のべ24人）

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
https://yokohama-nihongo.com
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方
「知りたい・やってみたい・つながりたい」をサポートします！

横浜市委託事業／文化庁令和5年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用
©2021 Yokohama Association for International Communication and exchanges(YOKE)

（ICT活用日本語教室 日本語学習者向け「オンライン教材を活用した日本語教室」）

「よこはまでつながる　くらしの日本語」7月コース 実施報告

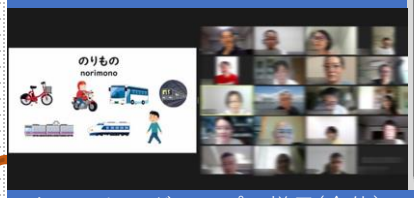
主催：(公財)横浜市国際交流協会

教室に参加した人

学習者：
横浜に住んでいる、横浜で働いている、横浜の学校に通っている人で、ひらがなが読めて、簡単な会話ができる人

サポーター：
YOKEの「つなひろ」を中心とした講座「オンライン日本語学習サイトを活用した支援を体験しよう」に参加した方で、学んだ日本語を使えるようになりたい学習者とたくさん話したい学習者へのサポートのため参加

生活Can-doを意識した活動の流れ

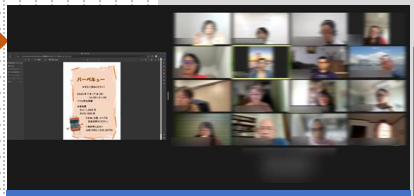


ウォーミングアップの様子(全体)

最初の全体活動で、ウォーミングアップを行いました。学習者が知っている語彙を思い出すため、教室活動の中で事前に知っておきたい語彙の確認を行いました。例えば、乗り物には何があるかを聞き、学習者は自分が知っている乗り物を自由に言いました。学習者が話題に興味を持ったところで、グループ活動へと移行しました。

グループ活動の様子

グループ活動（各グループ：学習者２～３人、サポーター２人）では、３グループに分かれ、支援者と学習者が「つなひろ」の場面や実際に周りにある建物を思い出しながら、行きたい場所やイベントに行くことを想定し、会話を深めました。7月は花火大会・イベントが多かったので、参加者は、自分が行ったイベントや夏の祭りについて紹介し、話し合いました。


最後の全体活動の様子

毎回最後の全体活動では、振り返りと横浜市内のイベントの情報共有を行いました。今年は、コロナ禍で中止していた花火大会などが復活したこともあり、皆さん「今年こそ出かけよう！」と、とても意欲的に会話を楽しみました。

教室活動は、全体活動→グループ活動 →全体活動の順に行いました。例えば「イベントに参加する」回では、学習者が地域社会への参加の第一歩として、「つなひろ」のシーン「自治会に入ってみよう」を使い、自治会に参加するための日本語を学びました。自治会の話を通して、日本社会への理解を深めるとともに、行事の情報などを得るための日本語を学びました。知りたいことや理解できなかったことについては直接サポーターに聞いて、理解を深めました。各回の終了後に学習者は振り返りシートに当日学習したことや感想を書きました。サポーターの学習支援においての疑問などについては、講師からの説明がありました。

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
https://yokohama-nihongo.com
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方
「知りたい・やってみたい・つながりたい」をサポートします！

横浜市委託事業／文化庁令和5年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用
©2021 Yokohama Association for International Communication and exchanges(YOKE)